

て家族など5組が入居し、1組が町への移住を決めたほか、他の4

登録がない移住希望者。利用期間中、町役場

農業委員会を、起業を目指す人には商工会を、と、各種の橋渡しを

物にも案内。まちの「ええとこ」を肌で感じてもらう。

# 障害者「オンライン運動会」参加へ 13日に車椅子ボウリング幕開け 京田辺「さんさん山城」CUP

農福連携センター「さんさん山城」(新免修施設長、藤永実センター長) 京田辺市興戸Ⅱで13日(土)と

を添えて役場・移住定住に係りに提出すればよい。

一定期間内に複数の申請があった場合は、希望者の状況(子育て・多世代など)を考慮した上で審査もしくは抽選を行い、貸付決定者と定期賃貸借契約書を締結、入居開始となる。

今回の「利用希望」の連絡受付期間は来週12日(金)までとなっている。



意欲満々に「さんさん山城BOWLING」特設レーンが登場した

3月6日(土)の両日、「さんさん山城CUP・車椅子ボウリング大会」が開かれる。障害がある人を含む3人1組の参加チームを募集している。

コロナ禍、スポーツイベントの中止と縮小が相次ぎ、障害がある人も体を動かして交流する機会を、府が初開催する「オンライン運動会」の一環。大会公式ホームページなどで撮影動画が公開され、閲覧数や「いいね」の回数を競うもので、参加募集は始まっている。

何でも「楽しんでやろう」の気概が強い「さんさん」ではいち早く車椅子ボウリングの特設レーン在完成。

手作りピンはペットボトルを再利用し、絵具を混ぜた水の量を調節して倒れにくさも工夫した。

車椅子やフットサルに使うボールなどの公用具に「さんさん」ステッカーを貼って機運を盛り上げ、大きなボード、キャラクターのクマもマスクを着用してアピールにひと役買っている。

競技は、3人離れた場所から車椅子に座り、1人1投(計3回)し、倒したピンの合計点数を競う。色分けしたピンごとに点数が付いてあり、審判員が記録する。

参加できるのは府在住・在勤・在学で、障害がある人を1人含む

3人1チーム。参加無料。

上位5チームを表彰(賞状・賞品あり)。各大会日で表彰を行う(受賞は1チーム1回のみ)。協賛企業・団体が提供する賞品はジャンルも盛りだくさん。参加賞あり。

藤永実行委員長は「たくさん楽しんでください」と参加を呼び掛ける。申し込み、問い合わせは、大会日・参加者それぞれの氏名・性別・年齢・障害有無を記入し、大会前日までにFAX65・4102、メール fukuda@kyoto-chogen.or.jp、TEL39・71113 (福田民子大会事務局長)へ。